

担当講座	医学教育学講座 医学教育学分野	問合せ先	医学教育学分野
分野責任者	高田 亮 教授	連絡先	医学教育学講座 内線5102
担当教員	高田 亮 教授 相澤 純 特任講師		
人材育成の 基本理念	医学教育におけるカリキュラム構築の考え方、教育手法、評価法を学ぶことで、効率的かつ効果的な医学教育の在り方を実践、指導できる人材を育成する。		
主な研究内容	研修医として必要な知識・技能・態度が修得できるカリキュラムおよび教育手法の開発、教育内容の修得を保證できる評価法について研究する。量的研究に加えて質的研究も行う。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	医学教育の専門的人材になるために、国際基準に基づく医学教育の手法を活用し、組織の中での教育改善に貢献できる能力を身につける。さらに研究によって新たな教育手法や評価法を開発することで、医学教育の発展に貢献できるようになる。	1,2,3,4,5,6,7,8	
到達目標	到達目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる。	ベーシックセミナー、医学教育学講義1、医学教育学研究専門基礎修練1・2、医学教育学セミナー1・2・4	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論、医学教育学研究専門基礎修練1・2、医学教育学セミナー2・4	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(4)解析結果をまとめ、発表できる（英文が望ましい）。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)アウトカム基盤型教育のカリキュラムの構築方法を説明できる。	医学教育学講義2、医学教育学セミナー3	
	(8)カリキュラムの中のコースの設計ができる。	医学教育学講義2、医学教育学セミナー3	
	(9)到達目標の修得を保證できる評価法を抽出できる。	医学教育学講義1・2、医学教育学研究専門基礎修練1、医学教育学セミナー1・2・3	
	(10)能動学修に寄与する教育手法を実施できる。	医学教育学講義1、医学教育学セミナー1	
	(11)医学教育に関する最先端の論文が評価できる。	医学教育学講義2、医学教育学研究専門基礎修練1・2、医学教育学セミナー1・2・4	
(12)医学教育学における研究手法を実施できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、医学教育学研究専門基礎修練1・2、医学教育学セミナー2・4		
資格取得等	医学教育学会認定医学教育専門家取得につながる知識と技能を修得できる。		
履修に関する 情報	社会人大学院生など、勤務等で授業に出席できない場合は、日程等の調整に応じる。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論（2単位）」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特論	1～4年	講義 医学教育学講義1	通年	30	4	20単位	
	1～4年	演習 医学教育学研究専門基礎修練1	通年	30	4		
	1～4年	講義 医学教育学講義2	通年	30	4		
	1～4年	演習 医学教育学研究専門基礎修練2	通年	30	4		
	1～4年	演習 医学教育学セミナー1	通年	8	1		
	2年	演習 医学教育学セミナー2	通年	8	1		
	3年	演習 医学教育学セミナー3	通年	8	1		
	4年	演習 医学教育学セミナー4	通年	8	1		
特別 研究	2年	特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
	3年	特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
	4年	特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

医学教育学

コード	MD13141010					MD13141020					MD13141030					MD13141040				
科目	医学教育学講義1					医学教育学研究専門基礎修練1					医学教育学講義2					医学教育学研究専門基礎修練2				
科目責任者	高田亮					高田亮					高田亮					高田亮				
担当者	高田亮					高田亮					高田亮					高田亮				
会場	医学教育学講座スタッフルーム					医学教育学講座スタッフルーム					医学教育学講座スタッフルーム					医学教育学講座スタッフルーム				
区分等	区分	講義	単位	4		区分	演習	単位	4		区分	講義	単位	4		区分	演習	単位	4	
	回数	通年30コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4	
主な授業内容	医学教育学の基本的な知識の修得					医学教育学の研究技法の修得					医学教育学の基本的な知識の修得およびカリキュラム構築・コース評価の基本的知識の修得					医学教育の実践的スキルと医学教育学の専門的研究技法の修得の完成				
教育成果	医学教育の歴史と現在の国際的状況を学び、能動学修の教育法、知識・技能・態度教育にあわせた評価法を説明できるようになる。					医学教育学の研究に用いられるさまざまな研究技法について学び、研究テーマに合わせた研究技法を抽出できるようになる。					カリキュラムの構築方法、知識・技能・態度教育にあわせた評価法の適切な選択法を学び、模擬的なコース設計と評価法の要点を説明できるようになる。					医学教育学の特性を学び、医学教育学を実践する専門的スキルと研究技能を実践できるようになる。				
コピー番号/達成度	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5
	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。																			
	全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書	A Practical Guide For Medical Teachers Third Edition										A Practical Guide For Medical Teachers Third Edition									

コード	MD13141050					MD13141060					MD13141070					MD13141080				
科目	医学教育学セミナー1					医学教育学セミナー2					医学教育学セミナー3					医学教育学セミナー4				
科目責任者	高田亮					高田亮					高田亮					高田亮				
担当者	相澤純					高田亮					高田亮					高田亮				
会場	医学教育学講座スタッフルーム					医学教育学講座スタッフルーム					医学教育学講座スタッフルーム					医学教育学講座スタッフルーム				
区分等	区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	1	
	回数	通年8コマ	配当年次	1～4		回数	通年8コマ	配当年次	2		回数	通年8コマ	配当年次	3		回数	通年8コマ	配当年次	4	
主な授業内容	能動学修に寄与する医学教育技法を用いて講義資料を作成する。					医学教育学における文献や論文を通じて、適切な研究技法を修得する。					カリキュラム構築・コース評価の模擬的実践					文献や論文を通じて医学教育学における研究技法の発展的知識の修得し、実践する。				
教育成果	修得した教育技法を用いて、実際の講義の講義プランと資料、評価法を作成し、振り返りができるようになる。					医学教育学における文献や論文からさまざまな研究技法を学ぶことで、自らの研究テーマについて適切な研究技法を選択できるようになる。					カリキュラムの構築方法、知識・技能・態度教育にあわせた評価法の適切な選択法を学び、模擬的なコース設計と評価法を作成できるようになる。					医学教育学の論文により医学教育の研究の特殊性を学び、修得した研究技法を自らの研究に活用できる。				
コピー番号/達成度	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。																			
	全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書											A Practical Guide For Medical Teachers Third Edition									

●各科目の授業計画

コード	MD13149010					MD13149020					MD13149030								
科目	特別研究Ⅰ					特別研究Ⅱ					特別研究Ⅲ								
科目責任者	各(正)指導教員					各(正)指導教員					各(正)指導教員								
担当者	各指導教員					各指導教員					各指導教員								
会場	各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定								
区分等	区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	2					
	回数	通年8コマ	配当年次	2		回数	通年8コマ	配当年次	3		回数	通年15コマ	配当年次	4					
主な授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備 					<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備 					<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備 								
教育成果	<p>生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。</p> <p><初期審査>2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。</p>					<p>生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。</p> <p><中間審査>3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。</p>					<p>生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。</p> <p><論文作成>学位申請までに実施。論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。</p>								
コピテンス番号/達成度	コピテンス1	コピテンス2	コピテンス3	コピテンス4	コピテンス5	コピテンス1	コピテンス2	コピテンス3	コピテンス4	コピテンス5	コピテンス1	コピテンス2	コピテンス3	コピテンス4	コピテンス5				
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A				
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。								
	初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。								
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC(60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。																		
講義日程	時間割参照																		
教科書参考書																			

●時間割

医学教育学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	特別研究Ⅰ～Ⅲ		医学教育学講義1	医学教育学研究専門基礎修練2	医学教育学講義2	共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10					医学教育学セミナー1~4(隔週)	
5 限	18:00~19:30			医学教育学研究専門基礎修練1			
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	特別研究Ⅰ～Ⅲ		医学教育学講義1	医学教育学研究専門基礎修練2	医学教育学講義2	共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10					医学教育学セミナー1~4(隔週)	
5 限	18:00~19:30			医学教育学研究専門基礎修練1			
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						